

京都大学医学部附属病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。

お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

また、この研究は当院の研究倫理委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	非小細胞肺癌における胸膜外進展形式の多様性と腫瘍微小環境の関連-多施設共同研究-
当院の研究責任者（所属）	京都大学医学部附属病院 呼吸器外科 毛受暁史
本研究の目的	<p>がんはいろいろな正常細胞を手なずけて周囲に配置させ、免疫や抗がん剤から自分を守らせたり、増殖をサポートさせたり、転移の手助けをさせています。このような構造をがん微小環境と呼びます。この研究では、がんが胸膜をこえて壁側胸膜や胸壁に浸潤した状態（PL3 とよびます）であった非小細胞肺癌の患者さんを対象とし、がんががん微小環境の接点に存在する T リンパ球に着目して以下の研究を実施します。</p> <p>(1)PL3 の非小細胞肺癌の患者さんの手術標本から、臓側胸膜外への進展部分を選択し、その領域にあるがん・がん微小環境の接点に存在する CD8a 陽性 T リンパ球の密度と患者さんの予後とが関連することを証明します。</p> <p>(2)次いで、がん・がん微小環境の接点に存在する CD8a 陽性 T リンパ球の密度によって、がんが再発したときに免疫チェックポイント阻害剤の効果を予測することができないかどうかを調べます。</p>
調査データ 該当期間	2014年1月1日～2022年12月31日の間
利用または提供を 開始する予定日	京都大学医学部附属病院長の実施許可日以降に提供します。
研究方法 (使用する試料等)	<p>調査対象となる患者さん 上記期間に非小細胞肺癌で天理よろづ相談所病院、名古屋大学医学部附属病院、神戸医療センター中央市民病院、西神戸医療センター、京都大学医学部附属病院に入院され、隣接臓器合併切除を含む根治的手術を受けた患者さん</p> <p>使用する情報 ホルマリン固定パラフィン包埋摘出肺検体、診療記録、検査データ、画像検査結果等</p>

<p>試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法</p>	<p>摘出肺検体の一部や患者さんの情報を、個人が特定できないよう研究番号を付与して研究代表者施設へ郵送します。</p>
<p>研究組織 多施設共同研究の場合必要 当院のみで実施する研究の 場合は不要の為、この欄は削 除して下さい。</p>	<p>この研究は、多機関との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関の研究責任者等で利用されることがあります。 研究代表者（研究の全体の責任者） 天理よろづ相談所病院 呼吸器外科 宮本英 その他の共同研究機関等 名古屋大学医学部附属病院 呼吸器外科 呼吸器外科 芳川豊史 神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器外科 濱川博司 西神戸医療センター 呼吸器外科 本山秀樹 京都大学医学部附属病院 呼吸器外科 毛受暁史</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>研究に利用する試料や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。</p>
<p>本研究の資金源 （利益相反）</p>	<p>この研究は、運営費交付金により実施します。特定の企業からの資金提供は受けていません。当院に所属する研究者の利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。</p>
<p>研究期間</p>	<p>病院長承認日 ~ 2028年12月31日</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>1) 研究課題ごとの相談窓口 京都大学医学部附属病院 呼吸器外科 電話：075-751-4975 研究責任者：毛受暁史 2) 京都大学の苦情等の相談窓口 京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口 電話：075-751-4748 E-mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp</p>